

佐倉市水道事業設置等に関する条例の一部を改正する条例（案）に寄せられた意見と市の考え方について

（１）意見募集結果

意見募集期間	平成 25 年 10 月 9 日～平成 25 年 10 月 23 日
意見募集結果	意見提出者数 1 名、提出件数 5 件
意見に対する対応	意見を参考に案を修正したもの 0 件

（２）意見の内容と市の考え方

No	提出された意見の内容	意見に対する考え方	案修正の有無
1	佐倉市は従来から下水道整備がかなり進んでいると報告されていきました。今回下水道事業を上水道と一体化するというのですが、なぜ今なのでしょう？	<p>今回、水道事業と下水道事業が一体化するのは、下水道事業が平成 26 年に企業会計移行するとして全体計画に併せて行うものです。</p> <p>下水道事業の企業会計移行については、平成 22 年より計画的に進めており、資産調査やシステム開発等の準備作業を踏まえ、平成 26 年に移行する計画です。</p>	無
2	今回の資料ではただ文面上上水道と下水道を統一するということしかわかりません。行政側で何か具体的なメリットがでてくるのでしょうか？例えば費用が少なくなるとか、市内業者への指導がより統一的になるとか。	<p>行政側のメリットは当該ホームページの「公表案・関連資料」に掲載した「下水道事業への地方公営企業法適用と上下水道部の設置について」に記載したとおりです。</p> <p>【以下要約】</p> <p>●企業会計移行のメリット</p> <p>減価償却費を含めた経営状況の把握と経営健全性の向上、下水道資産の適切な管理等が可能となると考えております。</p>	無

		<p>●上下水道部となるメリット 共通事務に係わる人員増加の抑制、管渠情報の共有化による効率的な維持管理と建設工事の推進、災害等の危機管理体制強化などが期待されます。</p>	
3	<p>理屈の上では、上下水道の老朽化したインフラへの対応が統一的にできるようにみえますが、果たしてそのような理解をしてもよいのでしょうか？</p>	<p>水道事業と下水道事業の発注時期や舗装復旧時期、更には工事の一体的な発注等につき、双方の調整が容易となり、効率性が向上すると考えています。</p>	無
4	<p>市民サイドから見た、今回統合のメリットは何なのでしょう？窓口が一本化されるということですか？</p>	<p>市民サイドから見たメリットは当該ホームページの「公表案・関連資料」に掲載した「下水道事業への地方公営企業法適用と上下水道部の設置について」に記載したとおりです。</p> <p>【以下要約】</p> <p>●企業会計移行のメリット 一般的な複式簿記のルールに基づいた財務状況の開示が可能となり情報公開と透明性が向上すると考えています。</p> <p>●上下水道部となるメリット 類似業務に係わる受付窓口集約による市民サービスの向上が図られると考えております。</p>	無
5	<p>私から見て、今まで統合されていなかったことがよく理解できません。その点で今回統合するのは合理性があるのではないかと考えます。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p>	無